

第694回

定期演奏会

レイランドの「展覧会の絵」、
フォン・オーエンの
ラフマニノフとモーツァルト

指揮：
デイヴィッド・レイランド
Conductor: David Reiland
©BAKI

ピアノ：
アンドリュー・フォン・オーエン*
Piano: Andrew von Oeyen*
©Marco Borggreve

京都市交響楽団

The 694th Subscription Concert of the City of Kyoto Symphony Orchestra

2024

フライデー・ナイト・スペシャル

はいつもと違う!

気軽にオーケストラ・サウンドが楽しめる、
それが「フライデー・ナイト・スペシャル」!

★夜7:30開演なので、仕事帰りにも行きやすい!

★休憩なしのプログラムに楽しみを凝縮!

★親しみやすい曲、ピアノ独奏曲など、多彩な
曲目のセレクトで金曜の夜を楽しめる!

監・田向口鑑賞で京響定期のコンプリート!

★土曜公演よりもリーズナブルな
料金設定で来場しやすい!

フライデー・ナイト・スペシャル

休憩なし「Friday Night Special」with no intermission

10/11 金 午後7時30分開演
(午後6時30分開場)
Fri, October 11, 2024 / 7:30PM

ラフマニノフ:

前奏曲集 作品23から(ピアノ独奏)*

第4番 ニ長調、第2番 変ロ長調、
第6番 変ホ長調、第5番 ト短調

ムソルグスキー(ラヴェル編):

組曲「展覧会の絵」

Rachmaninov: Preludes op.23 - (piano solo)*
No.4 in D major, No. 2 in B-flat major, No. 6 in E-flat major, No. 5 in C minor
Mussorgsky (Ravel): Tableaux d'une exposition, suite

10/12 土 午後2時30分開演
(午後1時30分開場)
Sat, October 12, 2024 / 2:30PM

モーツァルト:

ピアノ協奏曲 第23番

イ長調 K.488*

ムソルグスキー(ラヴェル編):

組曲「展覧会の絵」

Mozart: Piano Concerto No.23 in A major K.488*
Mussorgsky (Ravel): Tableaux d'une exposition, suite

開演前
は指揮者による
「プレトーク」で
お楽しみください。

10/11 土公演: 午後7時ごろから
10/12 土公演: 午後2時ごろから
「プレトーク」はホール・ステージ上
にて開催します。

助成:



文化庁文化芸術振興費補助金
(舞台芸術等総合支援事業(公演創造活動))
独立行政法人日本芸術文化振興会

京都コンサートホール Kyoto Concert Hall

京都市営地下鉄烏丸線「北山」駅下車、出口1・3番から南へ徒歩約5分

2024
8/23 日
から発売

入場料

10/11 土公演 **フライデー・ナイト・スペシャル**
¥4,000円 ¥3,500円 ¥3,000円 ¥2,000円 ¥1,500円 (舞台後方席)

U22 (当日残席がある場合のみ発売) ¥1,500円 ¥1,000円 ¥500円 ¥500円

※「U22」は22歳以下のお客様が対象です。開演1時間前から発売(当日券売場にてお問い合わせください)。電話や窓口での事前予約はできません。席種は選べますが、座席指定はできません。ご購入及びご入場の際には年齢の確認できる証明書をご提示ください。

チケット
ご予約

●京都コンサートホール (075) 711-3231 ●ロームシアター京都 (075) 746-3201
●24時間オンラインチケット購入 <https://www.s2.e-get.jp/kyoto/pt/>
●チケットぴあ <https://t.pia.jp/> Pコード252-732
●ローソンチケット <https://l-tike.com/> Lコード55731

お問い
合わせ

京都市交響楽団 (075) 222-0347 <https://www.kyoto-symphony.jp/>
京都コンサートホール (075) 711-3231 <https://www.kyotoconcerthall.org/>
◎未就学のお子様のご入場はお断りいたします。
◎都合により曲目、出演者等が変更となる場合がございます。



- ◆1歳以上未就学のお子様は「託児ルーム」(有料・要予約・定員10名)をご利用ください。(お子様お1人につき1,000円/2024年10月4日までに京響075-222-0347へお申し込みください)
- ◆10枚以上のチケットお申し込みには団体割引(10%OFF)があります。京響(075-222-0347)までお問い合わせください。
- ◆障がいのある方ご本人及び介助の方1名に限り1割引いたします。京都コンサートホール・ロームシアター京都のみで取扱います(窓口で手帳等の証明書をご提示ください)。



主催: 公益財団法人京都市音楽芸術文化振興財団 京都市

協賛: ローム株式会社

協力: 株式会社ドルチェ楽器

後援: (株)エフエム京都

発行: 公益財団法人京都市音楽芸術文化振興財団

美しいひびき、感動にみちた
音楽との出会いをお届けします。



The 694th Subscription Concert of the City of Kyoto Symphony Orchestra

2021年度シーズンに引き続き2度目の京響定期登場となるベルギー出身のレイランド、前回はオール・モーツァルト・プログラムの緻密な解釈で観客を魅了しました。今シーズンは打って変わってロシア国民楽派の作曲家ムソルグスキーの「展覧会の絵」をお聴きいただけます。皆様の耳にも馴染みのトランペット独奏で始まる組曲です。各曲に題名が付いていて「音の絵画」を聴いて歩く感じがします。最終曲「キエフ（キーウ）の大きな門」もよくテレビで使われる曲の一つです。入念にじっくり音楽作りをするレイランドが大編成の曲を披露しますのでお楽しみに。ピアノのアンドリュー・フォン・オーエンは16歳でサラネン指揮ロサンゼルス・フィルと共演した神童で、アルフレッド・ブレンデルに教えを受けました。バロック、古典作品を得意とし、数多くの演奏がラジオで放送されていて、その透明感のある音色と鋭いリズムで現代曲でも素晴らしい演奏をします。今回はモーツァルトの第23番の協奏曲で京響デビューとなります。〈フライデー・ナイト・スペシャル〉ではピアノ独奏でラフマニノフの前奏曲から4曲をお聴きいただけます。こちらもお楽しみに！

指揮 ◆ デイヴィッド・レイランド

ブリュッセル王立音楽院、エコール・ノルマル音楽院、ザルツブルク・モーツァルトウム大学で学び、ピエール・ブーレーズ、デイヴィッド・ジンマン、ベルナルト・ハイティンク、ヨルマ・パヌラ、マリス・ヤンソンスに師事。2012年にエイジ・オブ・エンライトメント管弦楽団の副指揮者に迎えられ、マーク・エルダー、ウラディール・ユロフスキ、ロジャー・ノリントン、サイモン・ラトルと共に活動した。2012～18年、ルクセンブルク室内管弦楽団の音楽監督。2018年からフランス国立メス管（旧フランス国立ロレーヌ管）、2021年から韓国国立交響楽団の音楽監督を務める。ローザンヌ・シンフォニエッタ首席客演指揮者、デュッセルドルフ交響楽団「シューマン・ゲスト」として、両オーケストラとも親密な関係を維持している。昨今のシーズンは、ベルギー国立管弦楽団、王立リエージュ・フィルハーモニー管弦楽団、パリ室内管弦楽団、トゥールーズ・キャピトル国立管弦楽団、スイス・ロマン管弦楽団、東京都交響楽団、京都市交響楽団、ライブツィヒ・ゲヴァントハウス管弦楽団、ベルリン・コンツェルトハウス管などに定期的に客演。オペラでは、ソウル、ジュネーヴ、アントワープ、ライブツィヒ、ベルリンなどで、《ポントの王ミトリダテ》《魔笛》《コジ・ファン・トゥッテ》《皇帝ティートの慈悲》《フィデリオ》《サンク＝マルス》《カルメル会修道女の対話》《トスカ》《椿姫》《エフゲニー・オネーギン》《ナブッコ》《サムソンとデリラ》《ホフマン物語》《ファウスト》《真珠採り》《マハゴニー市の興亡》といった作品を指揮している。モーツァルトの指揮に定評があるほか、現代作品や知られざる作品にも視野を広げ、D.オーベール、B.ゴダール、A.ハイブリッツ、A.オルメスらの作品に取り組んでおり、そのレパートリーは多岐にわたる。若い音楽家の支援にも熱心で、メスとソウルで毎年、国際的なマスター・クラスを実施している。2021年、フランス政府から芸術文化勲章“シュヴァリエ”を受章。



©BAKI

ピアノ ◆ アンドリュー・フォン・オーエン

アンドリュー・フォン・オーエンは、その洞察力に富むエレガントな芸術性と華々しいテクニックにより国際的に称賛され、同世代の中で最も魅力的なピアニストの一人としての地位を確立した。16歳でエサ・ペッカ・サラネン指揮ロサンゼルス・フィルと共演してデビュー以来、フォン・オーエンは世界の主要ホールにおいてコンチェルトとソロの幅広いレパートリーを披露してきた。ソリストとして、アメリカ国内ではフィラデルフィア管、サンフランシスコ響、デトロイト響等と共演。国外では、ベルリン響、新日本フィル、シンガポール響、バンクーバー響等と共演。リサイタルは、ロンドンのウィグモア・ホール、ニューヨークのリンカーン・センター、ワシントンD.C.のケネディ・センター、ウィーンのコツェルトハウス、日本と韓国の主要コンサートホール他に開催。音楽祭では、アスペン、ラヴィニア、スポレート in USA等に登場。2022/23シーズンは、BBC響、プラハ・フィル、関西フィル等との共演、台湾ツアー、北米とヨーロッパでのリサイタル、オマーンのロイヤル・オペラハウス・マスカットへ再登場。録音は2017年からワーナー・クラシックスでリリースし、高評されたソロとコンチェルトのアルバムにはバッハ、ベートーヴェンからドビュッシー、ガーシュウィン、ラヴェル、サン＝サーンスまでのレパートリーが含まれる。デロス・レーベルではリスト、ドビュッシー、ストラヴィンスキーのリサイタル・アルバムを録音。また、アメリカ公共放送PBS等テレビを通じての演奏でも幅広い聴衆を獲得。ドイツとオランダにルーツがあるアメリカ生まれのフォン・オーエンは、5歳でピアノを始め、10歳でソリストとしてオーケストラと共演。コロンビア大学で学び、ジュリアード音楽院ではハーバート・ステッピンとジェローム・ローウェンタールに師事、A.ブレンデルとL.フライシャーからも薫陶を受けた。1999年、権威あるギルモア・ヤング・アーティスト賞受賞。2001年レニ・フェ・ブランド財団ナショナル・ピアノ・コンペティションで第1位を獲得。アメリカとフランスの国籍を持ち、ロサンゼルスとパリを拠点に演奏活動を行っている。



©Marco Borggreve

京都市交響楽団

1956年に創立し、日本で唯一、自治体が設置し、運営に責任を持つオーケストラ。2015年、第12代常任指揮者の広上淳一とともに「第46回サントリー音楽賞」受賞。同年6月、広上淳一指揮のもとヨーロッパ公演で成功を収め、2016年は創立60周年記念国内ツアーを開催し、平成28年度地域文化功労者表彰を受ける。2017年「第37回音楽クリティック・クラブ賞」本賞及び「第29回ミュージック・ベンクラブ音楽賞」クラシック部門「現代音楽部門賞」を受賞。2020年4月、第13代常任指揮者兼芸術顧問に広上淳一（2022年3月まで）、首席客演指揮者にジョン・アクセルロッド（2023年3月まで）が就任。2008年4月から2022年3月まで14年間にわたり常任指揮者を務めた広上淳一のもとでは、数々の名演を生み出して黄金時代を築き上げた。2023年4月から第14代常任指揮者に沖澤のどかが就任。さらに2024年4月からは首席客演指揮者にヤン・ヴィレム・デ・フリースが就任。京響は今、新たなステージへ向けて、名実ともに文化芸術都市・京都にふさわしい「世界に誇れるオーケストラ」として更なる前進を図っている。



©井上写真事務所 井上嘉和